

## 実験

学生自身が実験をすれば良いというわけではなく、主体的に実験に取り組むために、そして知識や技術をしっかりと身に付けるために、様々な工夫やしかけが展開されています。

科目名：分子生物学実験

担当者：松田勝 先生、児玉豊 先生

(バイオサイエンス教育研究センター)

農学部の専門科目である「分子生物学実験」は2年次の必修科目です。オムニバス形式の授業であり、基礎的な実験を行うことで、分子生物学の基本的な技術を学びます。

授業の初回では、実験に関する基礎的な知識を学び、練習実験も行います。それらの学びを踏まえて、グループ（6名程度）に分かれて課題実験を行います。



課題実験の内容は、配られたコメの品種を特定することです。後に実験の結果とどのようなプロセスで結論を導き出したかについてプレゼンテーションします。教員があらかじめデモンストレーションした実験と同じことを学生が体験するという従来の手法ではなく、答えを自ら導き出すという手法を取られています。

実験道具もあらかじめ準備されているのではなく、道具コーナーから自由に選んで持ち出すシステムです。また、TA2名が配置されており、道具の使い方などのサポートをしています。

学生が上級生になりそれぞれの研究室に配置され、いざ実験を行うとなると戸惑いが多いので、この授業で実験力を高めることを目指されているそうです。